



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

バハレーン：鉄道プロジェクト

(18日付現地各紙)

18日付現地各紙は、17日に開催された「Infrastructure Middle East 2011 Conference and Exhibition」におけるバハレーン鉄道整備プロジェクトに関する公共事業省政府高官の発言などについて報じている。

1. 2030年を完成目標とする「総合交通システム」整備計画は、順調に進展している。
2. 2008年に作成された本計画のマスタープランに基づき、詳細ルート、駅、適用する技術などについて調査するためのF/Sが18カ月間を要し実施される。また鉄道を地下鉄、地上、架橋のいずれにするかなどに関し検討される。
3. 本プロジェクトには、30億バハレーン・ディーナール（BD）を要し、既に多くの企業が関心を示している。公共事業省は、民間セクターよりさらに多くの関心が示されることを期待している。
4. 交通ネットワークは、LRT（軽量軌道交通）、モノレール、トラム、バスにより整備され、総距離は184.2キロとなる。プロジェクトは3フェーズに分けて実施される。  
第1フェーズは、バハレーン国際空港からバハレーン・モール（LRTにより総距離24キロ）、ジュフェールからバハレーン・モール（トラムにより11キロ）、第2フェーズは、LRT、モノレール、バスにより総距離72.7キロとなるものであり、2021年に完成を計画している。  
第3フェーズは11億BDを要し、LRT、モノレール、トラム、バスにより構成され、2022年に着工し、2030年に完成を予定している。
5. 全てのプロジェクトが完成した折には、空港からムハッラク、マナーマ、バハレーン・モールを經由し、イーサー・タウン、リファーウ、バハレーン・カタール・コーズウェイ、ドゥラト・ル・バハレーン、ハワール島を結ぶことになる。